

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

日刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

99.10.22 No. 5035

大失業・戦争・翼賛体制に反撃を 11・7全国労働者集会へ 勤務以外全員の参加を

11・7全国労働者総決起集会は、呼びかけの三組合と賛同労組が一堂に会した実行委員会の場で、次の三つのスローガンのもとに開催されることが決まった。

● 全労働者の団結で、倒産、リストラ、首切り、賃下げ攻撃をうち砕こう!

● 全労働者の団結で、ガイドライン発動阻止! 戦争協力を拒否しよう!

● 全労働者の団結で、自公一翼賛体制と対決しよう!

それぞれのスローガンの冒頭にすべて「全労働者の団結で」の一言がおかれているように、この集会は労働者の階級的団結の回復を求め、闘う労働組合の全国ネットワークづくりをあげるための大きな飛躍の場だ。この時代に何よりも求められているのは、労働者が闘う団結を取り戻すことだという熱い思いがこのスローガンには込められている。

集会には、これまでになく多くの労働組合・個人からの賛同が寄せられており、期待の聲は高まっている。動労千葉にとつては、われわれが訴えつづけてきたことが本場に時代に通用するものとなって大きく発展するかどうかの試金石として位置をもつ重要な取り組みだ。何としても五千名の結集を実現しよう。一年間の全成果を11・7集会へ! 勤務以外根こそぎの結集を実現しよう。

指定列車
● 日比谷野音 / 正午
● 第一陣
千葉駅 7番線 10時34分
● 第二陣
千葉駅 8番線 12時26分

全日建関西生コン / 金属機械港合同の訴え

先取りの弾圧II 二億六千万円の損害賠償

全日建設関西地区生コン支部

ガイドライン関連法や組織的犯罪対策法が成立し、この先取り敵弾圧がわが組合にかけられています。組合員が職場のささいな口論を理由に逮捕され、組合事務所までもが強制捜索されたのです。また、不当労働行為に対する私どもの申し入れが業務妨害とされ、「損害賠償」として二億六千万円もの支払い命令がでています。労働組合そのものを財政面から解体しようとする攻撃です。

しかし、この常軌を逸した弾圧は、敵の強さの現れではありません。わが組合は、従来の成果に加え今春闘で、共闘した五労組と経営者会(三七社)との集団交渉において、経営者が工場廃棄・集約にあたって失職した労働者を連帯して雇用を保障する制度を獲得しました。

情勢は、自公体制や独占資本の一方的攻勢で終始しているかのように見えます。しかし、こうした無理強いには多くの労働者の反発を引き起こしています。この時期に、闘う労働組合の旗を鮮明に掲げることが決定的に重要なことです。燎原の炎のような労働者の立ち上がりをめざし、共闘を呼びかけます。

金属機械・ゼンキン連合 の統一に断固として決別

全国金属機械・港合同

港合同は、「統一」を大義とした闘う組織の排除(港合同解体)を座視することはできず、金属機械・ゼンキン連合の組織統一(11JAM移行(99年9・9))と断固として決別した。

今日までの闘いの経験と教訓に踏まえ、闘いを可能ならしめる地域合同労組、本工中心企業内拘束の現行労働組合から脱皮するため、一層団結を強化して奮闘する。

昨今の労働組合は、原則と活動のあり方に多くの問題がある。

第一は、産業界組合といいながら、企業別・企業内組合である。

第二に、思想信条の自由、雑多な考え方の労働者が労働組合に結集するという大衆組織の原則を投げ捨てている。

第三に、地域闘争の重要性、それを形成する重要な組織としての地域合同労組の必要性を軽視している。

港合同は、かつて「連合の鬼子となつて闘う」と決意した組織の理念を忘れることなく、労働者階級の前進のため、困難な活動に身を投じ、奮闘する。全国の労働者・労働組合のみならず、力ある闘う労働運動の奔流をともしつくり上げよう。

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!